

19 観 光

19-1 球磨焼酎製造場と銘柄

資料：球磨焼酎酒造組合

	計	人	球	錦	あ					多	湯	水
		吉	磨	町	さ	上	免	岡	深	良	前	上
		市	村		ざり		田	原	田	木	町	村
製 造 工 場 数	27	9	1	2	5	1	1	1	2	6	2	2
銘 柄 数	388	118	13	16	87	27	9	7	44	91	27	36

令和3年4月1日現在。

19-2 温泉の状況（令和2年）

資料：人吉保健所

（単位：本・軒）

源泉 総数	利用源泉数		未利用源泉数		温度別源泉数				温泉湧出量（l/m）		温泉利用 公衆浴場 数	温泉利用 旅 館 数
	自噴	動力	自噴	動力	25℃未満	25℃ ～42℃	42℃以上	不明	自噴	動力		
76	1	61	1	13※	1	20	55	-	245	8,591	33	17

3月31日現在。未利用源泉（その他：掘削完了後動力装置の許可を取得していないもの）は何らの用途にもまったく利用されていないもの。

25℃未満の温泉とは泉水の成分上温泉に該当するもの（温泉法）。

同一施設で公衆浴場業・旅館業の許可をもつ場合は、温泉利用公衆浴場数及び温泉利用旅館数それぞれに計上した。

※動力未設置も含む。

19-3 宿泊施設状況（令和2年）

資料：市観光振興課

（単位：軒・室・人）

	計	ホテル・旅館・ビジネス	ペ ン シ ョ ン	民 宿
軒 数	38	33	-	5
部 屋 数	689	674	-	15
収容人員	1,832	1,786	-	46

4月1日現在。

19-4 観光客数（推定）の推移

資料：市観光振興課「県観光統計表」

（単位：人・万円）

年 次	観 光 客 数			推 定 観 光 消 費 額	入 込 観 光 客 の 旅 行 形 態		
	計	県外観光客	県内観光客		計	日帰り客	宿泊客
平成28年	1,196,647	716,283	480,364	1,168,782	1,196,647	993,464	203,183
平成29年	1,430,188	864,497	565,691	1,353,009	1,430,188	1,232,138	198,050
平成30年	1,302,686	779,788	522,898	1,270,427	1,302,686	1,139,697	162,989
平成31年	1,457,299	882,118	575,181	1,346,047	1,457,299	1,262,573	194,726
令和2年	343,956	222,446	121,510	…	343,956	305,002	38,954

19-5 くま川下り乗船客数（月別）

資料：球磨川くだり㈱

（単位：隻・人）

	平成30年度		平成31年度		令和 2年度	
	稼動延隻数	乗船客数	稼動延隻数	乗船客数	稼動延隻数	乗船客数
計	2,049	24,381	2,405	26,971	129	942
3 月	144	1,673	135	1,559	69	559
4	188	2,281	225	2,550	16	82
5	222	2,783	337	3,855	11	60
6	122	1,428	189	1,919	33	241
7	199	2,452	140	1,739	－	－
8	391	5,013	333	4,481	－	－
9	223	2,798	235	2,982	－	－
10	220	2,610	266	2,886	－	－
11	198	2,152	276	2,965	－	－
12	39	315	84	648	－	－
1	32	246	93	669	－	－
2	71	630	92	718	－	－

球磨川くだり㈱は、3月～翌年2月を年度にしている。

19-6 観光資源一覧

資料：市観光振興課

主 な 観 光 資 源 名	現 況 ・ み ど こ ろ
人 吉 温 泉	80余の源泉があり、銭湯スタイルの温泉が多数点在する。泉質は肌にやさしいアルカリ性単純温泉。「美人の湯」として親しまれている。 ※豪雨被害の影響により一部営業していないところがあります。
球 磨 川 く だ り	日本三急流（静岡県富士川・山形県最上川・熊本県球磨川）の一つ、球磨川。「清流コース」では、ゆるやかな流れにのって、川のほとりに広がる自然や町並みを楽しめる。 ※令和3年7月よりショートコース再開予定
人 吉 城 跡	相良氏700年の居城で、別名を織月城と呼ぶ国指定の史跡。水の手橋付近の石垣「はねだし」（武者返し）の建築様式は、北海道函館の五稜郭等数カ所に見られる。平成5年、多門櫓、角櫓、長堀を復元。平成18年、「日本100名城」選定。
青 井 阿 蘇 神 社	大同元年（806年）の創建で、本殿、廊、幣殿、拝殿、楼門は平成20年に国宝指定された。全体の構造は鎌倉時代の様式であるが、手法は安土桃山時代の典型的な特徴をもつ。
願 成 寺	相良藩主相良家の菩提寺で、天福元年（1233年）の開山。本尊の阿弥陀如来坐像は国の重要文化財に指定されている。
相 良 家 墓 地	人吉城主相良家累代の墓地で、初代から37代までの墓が整然と並んでいる。墓所としての暗いイメージはなく、全国的にも貴重な文化財。
大 村 横 穴 群	JR九州人吉駅裏の断崖に、今から約1400年前に作られたと言われる古代の墓所。大小27の横穴式古墳からなり、入口に装飾が施されている。国指定史跡。
武 家 屋 敷	かや葺の屋根を持つ母屋は、相良藩主の御仮屋を移したものの。門は人吉城の堀合門を新宮氏が拝領して自宅の門としたもので、現存する唯一の人吉城の建造物。
鹿 目 の 滝	雄滝高さ36m、雌滝高さ30m、平滝の3つからなる豪快な滝で、避暑地、ハイキングの適地である。JR九州人吉駅から車で20分。「日本の滝100選」選定。
J R 肥 薩 線	急流球磨川に沿う通称「川線（八代～人吉）」、ループ線やスイッチバックなどの“鉄道遺産”が残る「山線（人吉～吉松）」とともに人気の路線である。観光列車「いさぶろう・しんぺい号」、「SL人吉」、平成29年3月に運行を開始した「かわせみ やませみ」は全国の観光客を楽しませている。 ※令和3年4月現在 運休中
矢 岳 高 原	標高700mで、宮崎県えびの市を始めとして、霧島山系から遠く桜島まで望むことができる。観光列車「いさぶろう・しんぺい号」からの眺望は、旧国鉄の三大車窓に選ばれている。 ※令和3年4月現在 JR肥薩線運休中
人 吉 梅 園	JR九州大畑駅付近の丘陵に、昭和42年から造成されたもので、面積8ヘクタール、約4,600本が植樹されている。毎年2月下旬に梅まつりが催される。また、5月下旬には一般開放の梅狩りも開催。市街地から8km。えびの市方面に向かう途中には長さ1,190mの人吉ループ橋がある。
田 野 高 原	鹿児島県（伊佐市）との県境にあり、標高700mの台地で、春はワラビ狩りの名所。
大 野 溪 谷	JR九州大畑駅から歩いて30分のところにあり、高さ10mの「鍵掛けの滝」、さらに1km上流の「こやもとの滝」と四季折々の溪谷美がすばらしい。
布 の 滝	人吉中心部より南へ8km、車で20分の木地屋町にあり、胸川支流・上荒川・内川の自然林の中に、布のように流れる美しい滝を見ることができる。
人吉クラフトパーク 石野公園／道の駅人吉	人吉の匠と技を見て触れて、体験できるというテーマのもとに陶芸館、木工館、民芸館などで人吉の伝統工芸や文化が味わえる観光施設。また、キャンプ場近くには、県指定天然記念物の釜（かま）の奥戸（くど）がある。
ラ フ テ ィ ン グ	日本三急流「球磨川」と大自然の醍醐味を満喫しながら、ラフトボートを自ら操り、絶叫とともに川を下る九州で唯一のラフティングを体験できる。 ※豪雨被害の影響により営業していません
鍛 冶 屋 町 通 り	石畳が敷き詰められた通りは、かつて60軒ほどの鍛冶職人が軒を連ねた場所。現在では、蔵や包丁鍛冶の店などが並び、歩いているだけでも歴史を感じられる。
人吉鉄道ミュージアム MOZUCAステーション868	「100年レイル肥薩線」の魅力を今に伝える人気スポット。館内には沿線鉄道遺産の紹介に加え、ミニトレイン、水遊び場、カフェなどがあり家族連れで楽しめる。トータルデザインは、「SL人吉」等多くの観光列車を手掛ける工業デザイナー水戸岡鋭治氏によるもの。